

様式第2の3

高等学校等奨学給付金加算支給申請書

平成30年7月1日

愛知県立〇〇高等学校

※フリクションなどの消せるボールペン・修正テープ・修正液の使用は厳禁です。

次の4点を確認の上、□に印を付けてください。

- この申請書に4つのチェック項目を確認し、当てはまるものがあれば必ずチェックをしてください。
- この申請書に4つのチェック項目を確認し、当てはまるものがあれば必ずチェックをしてください。
- 私は愛知県の高等学校等奨学給付金加算支給申請書の対象となる高校生等は児童福祉法による児童入所施設措置費(見学旅費又は特別育成費(母子生活支援施設))の支給対象ではありません。
- この申請書の対象となる高校生等は児童福祉法による児童入所施設措置費(見学旅費又は特別育成費(母子生活支援施設))の支給対象ではありません。

印

基準額を申請した方(様式第1の2の申請者と同じ方)が署名してください

両親が親権者の場合、申請者ではない別の親権者(父が申請者であれば、母)が署名

両親が同居している場合はチェックしてください。住所の記入を省略できます。ただし、別居している場合は必ず住所を記入してください

名古屋 市 中 区 三の丸3-1

スタンプ印不可 必ず父・母で異なる印を押してください。(申請者の印を余白にも押してください)

給付 和子

住所 申請者と同じ

同意します 同意しません

平成30年度高等学校等奨学給付金の加算支給を申請します。また、下記記載内容に相違ないことを誓約します。

※7月1日時点で保護者に扶養されていない方は記入しないでください。
 (例: 保護者の扶養から外れている方、保護者等として署名をした方以外の扶養に入っている方)
 ※①~③に氏名等を記入した方の健康保険証のコピーを提出してください。

平成14年4月5日

申請年度の7月1日時点で、保護者等が扶養する上記生徒の兄弟姉妹(15歳以上)の氏名等を記入してください。

① 23歳未満(生年月日が平成7年7月3日以降生まれ)の兄・姉

氏名	生徒との続柄	生年月日	高校生等の在学 校名又は職業	扶養者	※審査使用欄 16歳未満 その他(一般)
給付 次郎	兄 姉	平成11年5月1日	〇〇大学	父 母 その他()	
給付 三郎	生徒より年長の方を記入	平成13年4月5日	△△専門学校	父・母 その他()	対象

父母以外が保護者である場合は、「その他」に○を付け、続柄を記入(祖父など)

② 高等学校等に在学する23歳以上(生年月日が平成7年7月3日以降生まれ)の兄・姉

氏名	生徒との続柄	生年月日	学校名や職種(アルバイト、会社員等)を必ず記入してください。空欄不可	扶養者	※審査使用欄 16歳未満 その他(一般) 特定 高校生
給付 太郎	兄 姉	昭和 平成 63年4月5日	愛知県立 □□高校	父 母 その他()	専攻科、別科、専修学校専門課程等を除く。

専攻科、別科、専修学校専門課程等を除く。

③ 通信制課程の高等学校に在学する弟・妹(併修する専修学校や定時制の高校で就学支援金の申請をした者を除く)、又は中学生を除く奨学給付金対象校に在学していない者(特別支援学校高等部等に在学する弟・妹、中学卒業後に高等学校等に在学していない弟・妹)

氏名	生徒との続柄	生年月日	在学学校又は職業	扶養者	※審査使用欄 16歳未満 その他(一般) 特定 通信制等
給付 花美	弟 妹	平成14年4月5日	愛知県立〇〇 特別支援学校	父 母 その他()	
計					1 1 1

生徒より年少の方を記入(中学生以下の方は記入しない)

記入した学校の「在学証明書」を提出してください(生徒手帳の写しは不可)。どの学校にも在学していない方は提出不要

※通信制高校に在学する場合は、サポート校ではなく高校(本校)の名称を記入してください。
 ※複数の学校に在学する場合は、就学支援金を受けている学校の名称を記入してください
 ※どの学校にも在学していない方は「無職」や「アルバイト」などと記入。空欄は不可

- 【添付書類】
- 上記生徒の保護者等全員の県民税所得割及び市町村民税所得割(非課税の場合、ただし高等学校等就学支援金又は学び直し支援金の申請時に所得に関する書類を提出し)
 - ①から③に該当する者の健康保険証の写し等
 - ②、③に該当する者の在学証明書(学校等に在学していない者については不要)

(申請者は記入しないこと)

記入しないこと